

参加者の質問・意見	教育長の回答・コメント
<p>○地域住民</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育環境アンケート結果で、「複式学級の維持意向」と「小学校を維持し支えていく意識の強さ」は同じことを聞いているのではないか？ ・学校の統廃合については、チャレンジプランの取り組みの成果を見てから判断してもいいのではないか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・「複式学級の維持意向」は現在・将来について複式学級になっても学校を維持していくべきかをお聞きした。「小学校を維持し支えていく意識の強さ」は小学校を維持していく場合の意識についてお聞きした。 ・チャレンジプランやわくわく交流会は、子どもたちの力を伸ばす大きな動機づけの機会である。この学校に子どもをあずけたいという魅力をつくらないと学校を存続させることはできない。学校の教職員も教育委員会も一生懸命にがんばるが、家庭でもしっかり教育してほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎の耐震化について、町長、副町長と協議した結果、統廃合の方向性とは切り離して、校舎耐震化を進める。
<p>○地域住民</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育環境でいえば、香美町、新温泉町は同じような状況であると思うが、新温泉町は学校統合して、学力はどうなったのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・新温泉町の学力のことについてよくわからない。新温泉町の小学校は何年もかけて何度か統合を繰り返してきた。その学校の状況は、混乱し落ち着いていなかったと聞いている。村岡中学校の場合も統合して混乱した。統合による副作用が出る。統合すれば教員を減らさざるをえない。保護者が残してほしいと思う教師が残るとは限らない。学校統合はバラ色ではない。統合するとすれば、どういう学校にしたいかしっかり話し合う必要がある。
<p>○保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジプランについて、丁寧に説明してもらいよくわかった。子どもから話を聞いて、楽しかったといっている。今試しているところだと思う。どんな答えを出すかチャレンジを広げ、2～3年取り組んだうえで、成果を検証してはどうか。他校との交流学习については、テレビ会議を利用する方法もあると思う。 	
<p>○保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合したら地域がすたれるという意見を聞くが、新温泉町の地域の状況はどうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校がなくなると、地域の人たちが集まらなくなる。子どものいなくなる地域は衰退していく。地域はさびれていく。県教育長は前職で限界集落対策の担当をされており、限界集落を維持

参加者の質問・意見	教育長の回答・コメント
	<p>するためには地域を元気にするリーダー、人づくりが必要であると語った。香美町も地域を元気にする人づくりを教育目標に取り組んでいる。県の問題意識と共通である。</p>
<p>○保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新温泉町で1学年3～4人の小規模の小学校では、合奏や球技などの多人数の取り組みができない。切磋琢磨や競争心が養われない。その小学校から浜坂中学校に入ると周りに友だちがいなく孤立してしまいがち。親たちも顔見知りがいなかった。学校統合したら、子どもは孤立しなくなり、親たちも小学校から顔見知りになれたと聞く。私の意見としては、学校統合した方が、切磋琢磨でき、競争心が養える。親も知り合いが増え、意見交換も多くなるようになると思う。 ・上の子が4～5年生の時、担任教師が持ち上がりだったが、怠慢で困った。保護者会を開いて、校長に相談したが改善されなかった。教師の人数が多くても、熱い愛情や指導力がなければ意味がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校統合については、よい面、悪い面両方の考え方がある。 ・かつて1学級 60 人ではじまった教育が 40 人、35 人と減り、先進的な国では 20 人学級である。世界的に見て、学校教育は少人数指導になっている。地方分権から教育も分権的な考え方に転換しており、これまでの集団による画一的な一斉指導から、個人差を踏まえた個に応じた指導が主流となっている。小規模、少人数指導は世界的な潮流である。 ・余部小学校の校長には、これから正念場であるので、教師の資質を高め、子どもの力をつけるようがんばってほしいと指示している。 ・全国に約 930 ある町村教育委員会には、小規模小学校が多数あり、香美町と同じような課題を抱えているが、小規模校の可能性に挑戦するような取り組みはやっていない。小規模校ならではの取り組みを積極的にやってみたい。
<p>○保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の通園時に、地域の人たちに声をかけてもらい感謝している。 ・自分の小学校時代は2クラスで、いろいろな考えを聞け、刺激になった。幼稚園の年少は7人で友だち関係が固定化、序列化するのではないかと心配である。チャレンジプランには期待している。 ・学区選択制という制度があり、親が子どもの通学小学校を選ぶことができると聞いたが、香美町でそういう話はないか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジプランは月 1 回、年 30 時間だが、子どもたちにとっては大きな刺激になっていると思う。 ・学校選択制については、親がこの学校に通わせたいと考えれば入学させることができるが、学校の人気で児童数が増減してしまう。学校の情報をしっかり提供して保護者に理解してもらわないと、安易に学校を選択することは非常に危険だと思う。今すぐの導入は考えていない。
<p>○保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分は 700 人規模の小学校で育ったので、リレーや合奏ができないなら統合した方がいいと思っていたが、説明を聞いて考えを見直した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前の保育・教育体制については、現在町長部局で検討している。明確ではないが、就学前は認定こども園化の方向になるだろう。

参加者の質問・意見	教育長の回答・コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園は現在の2年教育でよいと思うが、長井幼稚園の年少は入園せず、保育園に行っている。幼稚園についてはどうしていこうと考えているのか。 	<p>私立、公立、幼稚園を十分検証しながらどういう体制を作るか。</p>
<p>○地域住民</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校統合と耐震工事は切り離すということで安心した。 ・余部小学校から一中に行って、不登校や仲間はずれになったり、学力低いとは思っていない。統合すると地域がさびれるので、学校統合は反対である。 ・鎧地区は昭和32年、56年前から香住小学校に通っているが、余部校区の運動会に参加しても、小学校での付き合いがないので、なじみにくいのが現状である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・余部小学校から一中に入学した生徒の過去数年分の不登校の状況について調べたが、不登校はいたが、友だち関係が原因ではなく、家庭内のこと、家庭環境が原因によるものである。
<p>○保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジプランについて、5年生の子は自然学校に参加して楽しそうだった。下の子も楽しかったようだ。統合する場合は、香住小学校と言われたが、チャレンジプランには香住小学校は加わっていない。夫が一中に入って友だちづくりが大変だったといっている。香住小学校とも交流させてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・香住小学校にはクラスが複数あり、小規模ではない。交流させる場合、小規模校同士のよさを生かすチャレンジプランと目的が異なる。将来的に統合すると決まった場合は、当然余部小学校と香住小学校は交流させる必要がある。しかし現在のところ、統合は決まっていないので、別と考えている。 <p>統廃合の話が出たらその段階で1対1の連携を別途考える。</p>